


# 2018年度 山形大学 (前期)

## 医学部

試験時間：120分

 全問必答

**1** 原点を出発点とし、 $x$  軸上を動く点  $P$  がある。白球 6 個と黒球 4 個が入っている袋から球を 1 個ずつ取り出す。取り出した球が白球であれば点  $P$  は正の方向に 1 だけ進み、黒球であれば点  $P$  は負の方向に 1 だけ進むこととする。ただし、取り出した球は袋に戻さない。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 球を 2 回取り出すとき、点  $P$  が原点にある確率を求めよ。
- (2) 球を 8 回取り出すとき、点  $P$  の座標が 2 である確率を求めよ。
- (3) 球を 6 回取り出すとき、2 回目かつ 6 回目で点  $P$  が原点にある確率を求めよ。
- (4) 球を 6 回取り出すとき、6 回目で点  $P$  の座標が初めて 4 となる確率を求めよ。

**2** 座標空間において、点  $O$  を原点とし、4 点  $A(1, 2, 1)$ ,  $B(2, -1, -3)$ ,  $C(1, 1, 1)$ ,  $D(3, 2, -1)$  がある。このとき、次の問に答えよ。

- (1)  $\angle AOB = \theta$  とするとき、 $\cos \theta$  の値を求めよ。
- (2)  $\triangle AOB$  の面積を求めよ。
- (3) 2 点  $O, A$  を通る直線を  $L_1$ , 2 点  $O, B$  を通る直線を  $L_2$  とする。直線  $L_1$  上に点  $E$ , 直線  $L_2$  上に点  $F$  をとる。ここで、点  $E$  と点  $F$  は異なるとする。いま、 $\overrightarrow{EF}$  と  $\overrightarrow{OC}$  は垂直で、2 点  $E, F$  を通る直線  $L_3$  が点  $D$  を通るとき、次の (i), (ii) に答えよ。
  - (i) 直線  $L_3$  と  $xy$  平面との交点の座標を求めよ。
  - (ii) 点  $B$  と直線  $L_3$  上の点との距離の最小値を求めよ。

**3** 曲線  $y = \log x$  ( $x > 0$ ) を  $C$  とする。 $a > 1$  とし、点  $(1, 0)$  における曲線  $C$  の接線を  $L_1$ , 点  $A(a, \log a)$  における曲線  $C$  の接線を  $L_a$  とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 不定積分  $\int (\log x)^2 dx$  を求めよ。
- (2) 直線  $L_a$  の方程式および直線  $L_1$  と直線  $L_a$  の交点の  $x$  座標を求めよ。
- (3) 2 直線  $L_1, L_a$  と曲線  $C$  で囲まれた図形の面積を  $S(a)$  とするとき、極限值  $\lim_{a \rightarrow \infty} \frac{S(a)}{a}$  を求めよ。ただし、 $\lim_{a \rightarrow \infty} \frac{(\log a)^k}{a} = 0$  ( $k = 1, 2, 3, \dots$ ) を用いてよい。
- (4) 2 直線  $L_1, L_a$  と曲線  $C$  で囲まれた図形を  $x$  軸の周りに 1 回転してできる立体の体積を  $V(a)$  とするとき、極限值  $\lim_{a \rightarrow \infty} \frac{V(a)}{a \log a}$  を求めよ。ただし、 $\lim_{a \rightarrow \infty} \frac{(\log a)^k}{a} = 0$  ( $k = 1, 2, 3, \dots$ ) を用いてよい。

**4**  $i$  を虚数単位とし、複素数  $\alpha$  に対してその共役な複素数を  $\bar{\alpha}$  で表す。 $z_1 = i$  とし、複素数  $z_1, z_2, \dots, z_n, \dots$  が

$$z_{n+1} = z_n + \left(-\frac{4}{5}i\right)^n \times i \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たすとする。また、 $\gamma_n = -i \times \bar{z}_n$  とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) 複素数  $z_2, z_4$  を求めよ。
- (2) 複素数  $\gamma_2, \gamma_4$  を求めよ。
- (3) 自然数  $m$  に対して、複素数  $\gamma_{2m}$  の実部を  $a_m$ 、虚部を  $b_m$  とする。極限值  $\lim_{m \rightarrow \infty} a_m$  と  $\lim_{m \rightarrow \infty} b_m$  を求めよ。
- (4)  $a = \lim_{m \rightarrow \infty} a_m$ 、 $b = \lim_{m \rightarrow \infty} b_m$  とし、 $\gamma = a + bi$ 、 $z = -i \times \bar{\gamma}$  とする。複素数平面において、点  $z$  を点  $\gamma$  のまわりに  $\frac{\pi}{3}$  だけ回転して得られる点を表す複素数  $w$  を求めよ。

## 2018年度 山形大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

**1**

(1)  $\frac{8}{15}$

(2)  $\frac{8}{15}$

(3)  $\frac{8}{35}$

(4)  $\frac{8}{105}$

**2**

(1)  $-\frac{\sqrt{21}}{14}$

(2)  $\frac{5\sqrt{3}}{2}$

(3) (i) (2, 2, 0) (ii) 最小値:  $\frac{3\sqrt{6}}{2}$

**3**

(1)  $x(\log x)^2 - 2x \log x + 2x + C$  ( $C$  は積分定数)

(2)  $L_a: y = \frac{1}{a}x - 1 + \log a, x = \frac{a \log a}{a-1}$

(3)  $\frac{1}{2}$

(4)  $\pi$

**4**

(1)  $z_2 = \frac{4}{5} + i, z_4 = \frac{36}{125} + \frac{9}{25}i$

(2)  $\gamma_2 = -1 - \frac{4}{5}i, \gamma_4 = -\frac{9}{25} - \frac{36}{125}i$

(3)  $\lim_{m \rightarrow \infty} a_m = -\frac{25}{41}, \lim_{m \rightarrow \infty} b_m = -\frac{20}{41}$

(4)  $w = \frac{5(1+9\sqrt{3})}{82}(-1+i)$